

研究室インフォメーション ①

224-2  
海洋生物  
学生実験室

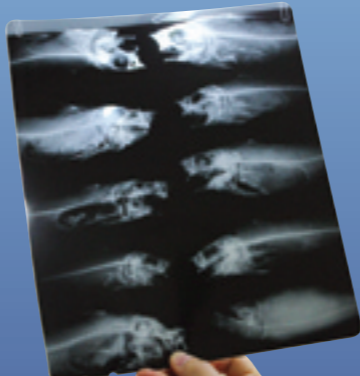
海洋生物学研究室

未知と触れ合う楽しさにかなうものは、ない。来たれ、好奇心旺盛な学生たち！



こんにちは、遠藤 広光です。  
私は福岡で生まれ、千葉と北海道で育ちました。  
高知大学、北海道大学を経て高知大理学部に戻って  
早や15年…うむ…感慨深いですね。

海洋生物学研究室では、魚類の分類学、形態学、系統学、そして高知県を中心とした魚類相に関する研究を行っています。分類学では浅海から深海まで、様々なグループの魚類を分類学的に検討し、時には新種や日本での未記録種を発見することもあります。また、比較解剖による骨格や筋肉、神経系の形態観察から、魚類の系統進化を考えています。さらに、魚類相の調査をもとに種多様性の解明に取り組んでいます。これらの研究には標本が必要不可欠であり、自然史博物館と同様に標本の採集や作成、維持や管理を継続して行ってきました。現在では日本有数の魚類標本コレクションとなり、国内外の多くの研究者に利用されています。



見よ！これが魚のX線写真！



軟X線写真撮影装置

標本数、実に20万！！

バケキホウボウ  
ももとは赤い色をしています。  
深海にはこんなのがいっぱい！



▲ツマジロオコゼの体長計測



▲理学部自慢の標本庫



ズナゴコダラと記念撮影？の図



ウロコって、セクシーー！

ソクセンユウコウリン  
(穴のあいたウロコ)の  
数を数えているところ…  
らしい。

クサウオ類の観察

マニアックな笑み。  
さすが理学部だね！

これで魚が  
分類できるのだ。

◀オコゼのように  
オコゼじゃない！？

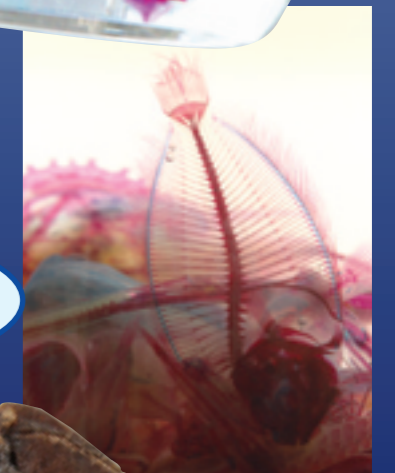


うちの研究室には20名の学生がいます。  
研究室では、自然史博物館と同様に  
標本を基にして研究をしています。  
あなたもぜひ！

私ってキレイ？  
これでも深海ではもてるのよ！  
オニキンメ



海洋生物って  
人気校種なんだよー！



骨格観察のための  
透明二重染色標本

サカナの分類、系統、形態、  
進化などを調べています。

